



第34回

令和5年度

全国グループホーム等研修会

中国地区大会 in ひろしま

大会テーマ

「これまでの地域支援 これからの地域支援」

～みんなが主役！ずっと笑顔で暮らせる地域づくりを！～



期日 令和5年10月3日(火)～4日(水)
会場 広島国際会議場
主催 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
中国地区知的障害者福祉協会
広島県知的障害者福祉協会

令和 5 年度

第 34 回 全国グループホーム等研修会

中国地区大会 in ひろしま

大会テーマ

「これまでの地域支援 これからの地域支援」

～みんなが主役！ずっと笑顔で暮らせる地域づくりを！～

開催目的

日本に障がい者のグループホームが制度化されて 30 年余りが経ちました。

この間、ノーマライゼーション理念の浸透により障がいのある方の地域への移行が進み、どのような障がいがあろうとも地域で生活できるよう基盤整備がなされてきました。平成 26 年度には障がい者の高齢化・重度化に対応して、介護が必要になっても本人の希望によりグループホームを利用し続けることができるよう、グループホームとケアホームの一元化が行われ、平成 30 年度には日中サービス支援型グループホームの類型が新設されました。グループホームは、その移り行く時代のニーズや課題に対応するべく制度の改正を繰り返してきました。そして昨年 12 月に、障害者総合支援法が改正され、令和 6 年度より障害者等の地域生活の支援体制の充実を図るため、グループホームの支援内容に、一人暮らし等を希望する者に対する支援や退居後の相談等を含むことが、法律上明確化されました。また、障がいのある方が安心して地域生活を送れるよう、基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点等の整備が市町村の努力義務とされました。しかしながら、これまでの法改正だけで、高齢化・重度化している障がい者への支援体制が整ったとは言えません。

こうした中、今回の大会では「これまでの地域支援、これからの地域支援」をテーマとし、障がいのある方がずっと笑顔で暮らせる地域づくりを目指し、これまでの地域支援をあらためて振り返りながら、これからの地域支援のあり方や、障がいのある方が望む暮らしを実現するために私たちは何をすればよいのか、共に考え一緒に学びたいと思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

主 催

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

中国地区知的障害者福祉協会 広島県知的障害者福祉協会

後 援

広島県 広島市 社会福祉法人 広島県社会福祉協議会

一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会（予定）

協 賛

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（画像提供）

福山観光コンベンション協会（画像提供）

開催期日・会場・定員

（１）開催期日

・１日目：令和５年１０月３日（火） １２：００～１７：３０（全体会）

・２日目：令和５年１０月４日（水） ９：００～１１：４５（各分科会）

（２）開催会場

・１日目：全体会 広島国際会議場 フェニックスホール

・２日目：各分科会 広島国際会議場 フェニックスホール他３ホール

（３）参加者

・定 員：６００名（申込先着順）

・対象者：グループホーム等関係者、知的障害関係事業所施設長・管理者及び
職員、相談支援事業所スタッフ、サービス管理責任者、行政、関係
機関、教育機関並びに知的障害福祉や地域支援等に関心のある方

大会参加費

（１）大会参加費 会員 １３，０００円 一般 １４，０００円

（２）宿泊費 別紙申込書参照

申し込み期限

令和５年 ８月 ３１日（木）とさせていただきます。

参加申込に関する問い合わせ先

名鉄観光サービス（株）広島支店（担当：兼田、北川、川邊）

TEL：０８２－２２７－２２８１

FAX：０８２－２２７－８８６３

日程及び内容

【10月3日（火）】

11:00	12:00	12:30	13:30	13:40	15:10	15:30	17:30
受付	開会式	行政説明	休憩	記念講演	休憩	シンポジウム	

【10月4日（水）】

8:30	9:00	11:45
受付	分科会	

*閉会式はありません。各分科会終了後、自由解散となります。

第 1 日目 10 月 3 日 (火)

全 体 会 広島国際会議場 フェニックスホール

開 会 式／12:00～12:30

行政説明／12:30～13:30

演 題 「障害福祉施策の動向について」(仮題)

講 師 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課
地域生活支援推進室 室長補佐 今井 貴士 氏

記念講演／13:40～15:10

演 題 「パラリンピック パリ大会を目指して！」

講 師 白砂 匠庸 氏 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 広島支店

略 歴

広島県北広島町に生まれ、2歳の時、農業用機械に誤って手を入れ左手関節より先を失う。広島県立庄原実業高等学校の陸上部顧問より障害者陸上を勧められ、本格的に始める。卒業後、「あいおいニッセイ同和損保」に入社し、競技生活と小中学校等での講演会や実技指導を行う。また、地元の神楽団に所属し、公演活動も行う。東京パラリンピックやり投げ6位入賞。令和6年のパリ大会を目指す。

シンポジウム／15:30～17:30

テーマ 「これまでの地域支援、これからの地域支援」

司 会 石本 伸也 氏 社会福祉法人 もえぎの会 業務執行理事
日本知的障害者福祉協会 地域支援部会 部会長

シンポジスト 白石 孝之 氏 社会福祉法人 彩明会 理事長
日本知的障害者福祉協会 政策委員会 副委員長

一丸 善樹 氏 社会福祉法人 三矢会 リガーレ管理者
日本知的障害者福祉協会 相談支援部会 部会長

富岡 貴生 氏 社会福祉法人 唐池学園 貴志園園長
日本知的障害者福祉協会 相談支援部会 前部会長

最上太一郎 氏 社会福祉法人 菊愛会 理事長
日本知的障害者福祉協会 地域支援部会 前部会長

助言者 今井 貴士 氏 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
障害福祉課 地域生活支援推進室 室長補佐

第2日目 10月4日（水）

分科会 《9：00～11：45》

新型コロナウイルス感染症により Web 開催が続きましたが、今年度は3年ぶりの対面での開催となりました。

障害者総合支援法改正施行後3年目の見直しを経て、障がいのある方の地域生活が本人の望む暮らしの実現に向けて進むよう、利用者も支援者もみんなが主役となり、地域の方と共にずっと笑顔で暮らせる地域づくりを目指していきたいですね！

今年度はみんなで考え、楽しむ分科会を4つ用意しました。

利用者の思いや希望をどう実現していけるのかを一緒に考えましょう。

第1分科会

テーマ 「みんなの心が笑顔になる意思決定支援」

意思決定支援は、利用者の望む暮らしの実現のために必要であり、私たち支援者の重要なキーワードにもなっています。権利擁護の観点から、どのようなアプローチをして思いを引き出すのか等々、具体的な実践事例をお話いただき、利用者も支援者もみんなの心が笑顔になる意思決定支援について、会場の皆さんと考えます。

司会者 服部 敏寛 氏 （山梨県 三富福祉会 相談支援部管理者）

講師 富岡 貴生 氏 （神奈川県 唐池学園 貴志園園長）

講演 「みんなの心が笑顔になる意思決定支援」（仮題）

発表者 講師よりテーマをいただき、グループワークを行います。

各グループより発表をお願いします。

第2分科会

テーマ 「重度化・高齢化に対応するグループホームのあり方」

グループホームが制度化されて35年を迎え、全国に約12,000ヶ所、165,000人の方が暮らしています。時代とともにホームのあり方が変わり、昨今は行動障害のある方や高齢の方の利用が増えています。この多様化するグループホームのあり方について、現状の3種類のホームでどのくらいの対応が可能なのか、またどのようなホームがあればいいのか、これからどのようなホームが求められているのか等々、多角的な視点から講演や実践報告をいただき、これからのホームのあり方について考えます。

司会者 豊村 英 氏 (沖縄県 ニライカナイ グループホーム翔 施設長)

講 師 日詰 正文 氏 (群馬県 国立のぞみの園 研究部部長)

講 演 「多様化する利用者ニーズへの対応について」(仮題)

発表者 中野 喜恵 氏

(北海道 はるにれの里 STP 事業部 コンサルタント専門員)

発表者 棕野 正信 氏 (熊本県 サポートセンター悠愛 施設長)

第3分科会

テーマ 「軽度・触法障害者の地域生活支援のあり方を考える」

軽度の方や触法の方の居住支援を含む地域生活支援には、様々な課題が見受けられます。地域共生社会の実現に向けた取り組みが進められている中、そのような方々が取り残されないような仕組みが必要です。本分科会では実践者の発表を通し、グループホームをはじめとする地域生活支援体制のあり方について考えていきます。

司会者 伊藤 淳一 氏 (栃木県 同愛会 かがやき 管理者)

発表者 原 良介 氏 (兵庫県 ドリーム甲子園 主任)

発表者 平岡慎二郎 氏 (愛媛県 はばたきハウス サービス管理責任者)

発表者 加藤 愛子 氏
(広島県 「ゼノ」ホームたびあ サービス管理責任者)

発表者 三浦 賢一 氏 (青森県 藤ヨゼフハウス サービス管理責任者)

第4分科会

テーマ 「突撃！となりの晩ごはん！」

～ずっと笑顔で暮らしたい～

毎日の暮らしの中で「食事」はかけがえのない楽しみであり、明日への活力となります。第4分科会では、会場と現地をつないで、全国のグループホームから自慢のホームレシピを紹介します。年代に応じた食事や重度化・高齢化等による食事内容や食事環境の工夫、テーマにある「笑顔」につながる食事を一緒に考えませんか？

また、4事業所をリアルタイムでバーチャル見学し、生活環境での工夫も自慢していただきます。利用者の「笑顔で暮らしたい」を実現するために、これからのホーム支援について一緒に考えましょう。

司会者 橋口磨理子 氏 (愛知県 観寿々会 アスパラトーズ 管理者)

発表者 與儀 二郎 氏
(沖縄県 ニライカナイ グループホーム翔 サービス管理責任者発表者)

発表者 石山 雄介 氏
(石川県 松原愛育会 生活支援センター雪見橋 生活支援員)

発表者 安喜 恭平 氏 (徳島県 あおぼの郷 主任)

発表者 伊藤佳代子 氏 (千葉県 りべるたす 理事長)